

会 議 録

会議名	第16回 東松山市地域公共交通会議					
開催日時	平成30年7月18日(水)			開会	午後13時30分	
				閉会	午後15時10分	
開催場所	東松山市役所 総合会館4階 ホールB					
会議次第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議 題 ・市内循環バスの実施状況について ・デマンドタクシーの実施状況について ・市内公共交通に関する意見について 5 その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		1人	
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
委員出欠状況	会長	高田 和幸	出席	副会長	加藤 貴文	出席
	委員	池田 利彦	出席	委員	長南 克幸	出席
	委員	小熊 和久	出席	委員	齋藤 隆行	代理(篠原)
	委員	仲條 靖子	出席	委員	杉本 智之	出席
	委員	山口 正史	出席	委員	鶴岡 洋	欠席
	委員	高原 昭	代理(藤田)	委員	森村 正寿	代理(渡部)
	委員	青木 宏之	出席	委員	二宮 義昭	出席
	委員	大木 修司	欠席	委員	大久保 勝子	欠席
	委員	五嶋 善明	欠席	委員	贄田 美行	出席
事務局	市民生活部 部長	齋藤 浩	出席	市民生活部 次長	関根 紀光	出席
	地域支援課 課長	今井 達雄	出席	地域支援課 室長	竹間 信之	出席
	地域支援課 主任	野中 勇太	出席	地域支援課 主任	西木戸 利枝	出席

1 開 会	地域支援課 今井課長
2 委嘱状交付	<p>贄田副市長より委嘱状交付</p> <p>○国際十王交通株式会社 営業部部长 小熊 和久 様</p> <p>○国土交通省 関東運輸局 埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官 青木 宏之 様</p>
3 あいさつ	高田会長
4 議 題	<p>(事務局)</p> <p>本日の進行について申し上げます。本日は次第の5、その他の中で都市計画課より「立地適正化計画」について説明させていただきます。</p> <p>また、本日、森田市長よりご挨拶を差し上げる予定ですが、他の公務中のため、到着次第お時間をいただきたいと思っておりますのでご了承ください。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日ご都合により、代理出席されている方々を紹介させていただきます。資料1の委員名簿をご覧くださいと思います。</p> <p>東松山交通㈱ 齋藤委員様の代理の篠原様 一般社団法人 埼玉県乗用自動車協会 高原委員様の代理の藤田様 川越観光自動車㈱ 森村委員様の代理の渡部様</p> <p>でございます。</p> <p>また、本日ご都合により欠席されている委員様は、</p> <p>鶴岡委員様、大木委員様、大久保委員様、五嶋委員様、</p> <p>でございます。</p> <p>(事務局)</p> <p>次に、配付資料の確認をさせていただきます。「次第」の次に、</p> <p>○「第16回 東松山市地域公共交通会議資料」 ○「第15回 東松山市地域公共交通会議録」 ○「平成30年度版デマンドタクシー乗降ポイント一覧」</p>

- 「市内循環バス路線マップ」
その他資料としまして
- 「立地適正化計画の策定について」

でございます。
配付漏れ等ございましたら、お申し出いただければと思います。

(事務局)

それでは、議事に入らせていただきます。会議の議長は、要綱第4条の規定によりまして、会長がその任にあたることになっておりますので、高田会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(議長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
最初に、会議録の署名委員を2名指名させていただきます。
池田委員さんと、杉本委員さんにお願いしたいと思っております。

会議録は、後日、調製のうえ、お持ちしますので、ご確認の署名をお願いいたします。

次に、この会議は原則公開となっておりますが、傍聴の申し込みはありますか。

(事務局)

傍聴の申込は、1名でございます。

(議長)

傍聴を許可することにご異議ありませんか。

(委員)

異議なし

(議長)

それでは、傍聴の許可をいたします。事務局は、申込みをいただいた方を入室させてください。

(1) 市内循環バスの実施状況について

(議 長)

それでは、これより議事に入らせていただきます。次第にございますように、議題が3件となっております。

はじめに、「市内循環バスの実施状況について」、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

資料2 「市内循環バスの実施状況について」にもとづき説明。

【主な意見等】

(議 長)

説明が終わりました。ご質問やご意見はありますか。

(贅田委員)

廃止した野本・高坂コースのみの実績は把握しているか。4ページ、5ページのコース合計には前年の野本・高坂コースの分も入っているということによいか。

(事務局)

平成29年度の野本・高坂コースの実績は、4月が706人、5月が736人、6月が816人となっている。コース合計については野本・高坂コースを含めた3路線分の数字となっている。

(贅田委員)

平成30年度の唐子コース利用者数が増えているが、理由はあるか。

(事務局)

唐子コースは利便性を高めるための経路の見直しにより1時間に1本程度の運行が可能となり、利用が増えたと考えている。

(議 長)

1便あたりの乗車人数は増えたか。

(事務局)

1便あたりの乗客数は、時間帯によって多い少ないがあるが、現段階で

の比較はしていない。

(議 長)

その他何か意見はありますか。

(事務局)

無ければ議題1については以上で終了します。

(2) デマンドタクシーの実施状況について

(議 長)

続きまして、「デマンドタクシーの実施状況について」、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

資料3「デマンドタクシーの実施状況」にもとづき、事務局から説明。

(事務局)

議事の途中ではございますが、森田市長が到着しましたので、ごあいさつを申し上げます。

【森田市長あいさつ】

(事務局)

ありがとうございました。森田市長につきましては、他の公務がございますので、大変恐縮ですがここで退席させていただきます。

(議 長)

説明が終わりました。ご質問やご意見はありますか。

(贅田委員)

月毎の利用実績の中で、行政区ごとの利用割合はどれくらいか。

例えば、平成30年の5月の7,647件のうち松山地区はどれくらい、野本地区はどれくらいとかがわかれば教えてほしい。

(事務局)

利用者の割合は月ごとに変動はあるが、平成30年の5月データでは、松山地区4,207件(55%)、大岡地区212件(2.8%)、平野地区829件(10.8%)、唐子地区561件(7.3%)、高坂地区597件(7.8%)、丘陵地区373件(4.9%)、野本地区868件(11.4%)となっている。

松山地区が多いが、他には野本地区、平野地区も比較的多い。

(議長)

松山地区は公共交通の利便性が高いと思われるのに、デマンドタクシーの利用が多いが、なぜか。

(事務局)

人口の割合は松山地区が圧倒的に多いので、高い数字がでるのは当然だとは思うが、松山地区の中での西側のエリアは市街化区域内でも公共交通が走っていないところもあるので、そういった地域の方は比較的デマンドタクシーを使っていると思われる。

(議長)

市では免許返納者をどのように把握されているのか。

(事務局)

警察が公表している数字では平成29年は、市内で299人の免許返納者がいる。平成28年は243人、平成27年は169人となっている。平成27年と平成29年を比較すると100人以上免許返納者は増えている。

(二宮委員)

最近のニュースで、免許返納後の移動手段がなくなってしまうという話をやっていた。返納の数が増えていることよりも、免許返納者にどのようにアプローチして、デマンドタクシー等を使ってもらうかを考える必要がある。

(事務局)

高齢化が進み免許返納者は今後も増えることが予想される。広報誌等を活用しながら周知をはかっていきたい。また、県警のホームページなどでも周知を図っている。

当市のデマンドタクシーについては、運転経歴証明書の提示で割引が受けられるので、その部分を含めて広報紙やホームページなど様々な媒体でPRしていきたい。

(議 長)

以前も聞いているかもしれないが、バスについて免許返納者に対する支援はあるのか。

(渡部委員代理)

バスでは実施していない。

(議 長)

免許返納を進めるためには、民間路線バスについても何か施策があってもよいと思う。免許返納を推進し、高齢者が加害者にならないための施策を事業者でも考えていただきたいと思う。

(贅田委員)

免許返納等についてのPRを広報誌やホームページでという話があったが、高齢者が多いので、シニアクラブや民生委員の高齢者訪問も活用いただければと思う。

(議 長)

その他ありますか。

無いようなのであれば、議題2については以上で終了します。

(3) 市内公共交通に関する意見について

(議 長)

続きまして、「市内公共交通に関する意見について」、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

資料4「市内公共交通に関する意見について」にもとづき、事務局から説明。

(議 長)

ご意見、ご質問があればお願いします。

(事務局)

これまで本会議の中で議論をいただき、デマンドタクシーの導入や市内循環バスのルート見直しを行うことができた。

市内循環バスについては、ルートや時刻表の見直しにより、利用者の増加等の一定の効果は見られているが、一方で循環バスが通らなくなってしまった等の意見も寄せられている。

また、デマンドタクシーについては、利用が増える中、公平性を考慮し、際限の無い予算の増大を回避しなくてはならない。持続可能な公共交通体系として維持していくために、アンケート調査等を通じ市民の声を集めながら、料金体系の見直し等も検討していく必要があると考えている。

鉄道・民間路線バスを基軸とし、それを補完する市内循環バス・デマンドタクシーの今後のあり方を十分検討した上で、効率的に目的地に移動するための公共交通体系の形成を図ってまいりたい。

(加藤委員)

資料中にワゴン車を用いたデマンド交通などのアイデアが出てきていたが、前回タクシー事業者からお話を聞いたとき、1日を通しての利用件数に対しては余裕があるが、午前中の混み合う時間帯については、配車を待ってもらったこともあるとの話だった。

今はまだ、問題なく利用されているようだが、利用者は徐々に増えている段階なので、今後も増え続けていくとさらに混雑することが予想される。

このままでも1～2年は維持できるのとは思うが、さらに増えたときに制度が破綻してしまうような気がしている。そういった数年先に向けて、この会議体で少しずつ準備をしていった方がよいと思う。

委員や市民の中からアイデア等を募集して、意見を総合して考えていく時間を作ってもよいのではと思う。

(議長)

ご意見ありがとうございます。先ほど事務局からも持続可能というキーワードがでてきたが、市民から好評のこのシステムをどこまで持続可能かを検討するワーキンググループのようなものを作って勉強会から始めるのもよいと思う。

(議長)

タクシー事業者に伺いたいですが、予約をお断りしているような状況はあるか。

(杉本委員)

利用者の行動時間帯、曜日、天気、鉄道の運行状態で変わってくるので一概には言えない。多少は混雑する状況もあるが、一般利用者をお待たせしてしまうときの状況とさほど変わらない。

(議長)

デマンドタクシー、一般利用に関わらず、予約は原則連絡が来た順ということによいか。

(杉本委員)

原則は連絡が来た順になる。受ける時間帯によっては、希望の時間帯に伺えずにすぐに向かうという場合もある。

(仲條委員)

状況は同じ。

(杉本委員)

タクシー事業者として、利用者から寄せられる意見としてデマンドタクシーの登録者証を毎回提示することが煩わしいと言われることがある。

ルールなので、電話予約の際に番号を伺い、乗車の際も提示をお願いしているが、中には不快感を示される方もいる。

利用者への利用の仕方を今一度周知してもらえるとありがたい。また、登録者証の番号が小さく見難いという意見があるので、出来ればもう少し大きくしてほしい。

(議長)

事務局は検討をお願いしたい。

(議長)

本会議の資料は市内循環バスとデマンドタクシーに限られているが、本会議は公共交通を検討する場なので、民間路線バスについてもどういう状況かを見ていくべきだと思っている。

今回は間に合わなかったが、次回以降はバス事業者にも運行の状況をご

報告いただきたいと思う。細かいデータの提供までお願いするつもりはないので、ご検討いただきたい。

高坂丘陵地区の路線バスの減便についても、今回の会議資料で初めて知った。本来であれば、本会議でももう少しそういった話ができれば、市民の便に寄与できるかもしれない。

本会議ではタクシー事業者もバス事業者も市民の移動手段を守るための一員なので、民間路線バスを基幹の交通と考える共通認識が必要だと思っている。

デマンドタクシーは好評なので、民間路線バスも盛り上げていかなくてはならない。自家用車に極端に頼っている部分を公共交通に振り向かせることが重要だと思っているので、この場で一致団結して向かっていきたい。

(小熊委員)

本日初めて出席したが、バスの運賃は3年値上げしていないがその間にも燃料費は高騰している。少子高齢化の影響もあり、利用客は減っている。運転手も不足している上に、安全にかける投資が増えている。

本日出席して、デマンドタクシーの利用の多さに危機感を持った。以前は東松山線が主力だったが、精査はしていないが現在は利用が落ちているのは事実だと思う。

路線バスについては自治体によって温度差がある。路線バスを残すか否かは自治体の本気度による。非常に大きな危機感を持っている。厳しい現状であるということはぜひ知っていただきたい。

(仲條委員)

来年の10月から消費税が上がるので、その際にはタクシー運賃も値上げせざるを得ない。デマンドタクシーにも影響が出ると思われるので、利用料金の検討を今後していただけたらと思う。

(議長)

バス事業者には会議開催の度にデマンドタクシーの影響についてお聞きしているが、具体的に影響がある・ないといった話は出て来ていない。データに基づいてご説明いただくと委員もより理解しやすい。ぜひ次回以降に検討をお願いしたい。

(議長)

様々なご意見をいただいたが、この先どのように対応していくのか。

<p>5 その他</p>	<p>(事務局)</p> <p>公共交通に関しては、持続可能なものとして維持していく必要があるの で、見直し検討していく。次回はもう少し踏み込んだ内容の資料を提示し て、本会議でも課題解決に向けて議論いただきたい。</p> <p>(議 長)</p> <p>特定のテーマに的を絞れるなら、メンバーを募ってワーキンググループ として議論した結果を会議資料としてまとめるのもよいと思う。</p> <p>(議 長)</p> <p>以上で議題3を終了いたします。</p> <p>(議 長)</p> <p>続きまして、その他に移ります。事務局から何かございますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>1 点目「立地適正化計画について」 その他資料「立地適正化計画の策定について」にもとづき、都市計画課 から説明。</p> <p>2 点目「デマンドタクシー登録者証の期限更新について」 利用期限を迎える登録者に対し、順次新しい登録者証を送付している旨 を説明。</p> <p>3 点目「デマンドタクシー乗降ポイントの更新について」 「平成30年度版乗降ポイント一覧」のとおり市内循環バスのバス停が 追加になったほか、新設・改廃のあった施設を更新した旨を説明。</p> <p>4 点目「次回開催の予定について」 次回の地域公共交通会議の開催日程について、次回は12月頃を予定と して、改めて調整させていただく旨を説明。</p>
--------------	--

6 閉 会	<p>(議 長)</p> <p>それでは、本日予定された議事につきましては、滞りなく終了いたしました。皆様のご協力に感謝を申し上げ、議長職を解かせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>市民生活部 斎藤部長</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>平成30年8月3日</p> <p>署名委員 <u>池田 利彦</u></p> <p>署名委員 <u>杉本 智之</u></p>	